

- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
- 「先付けボルトセット」を取付ける場合は、「先付けボルトセット」に同梱の取付け説明書を使用してください。

取付けされる方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

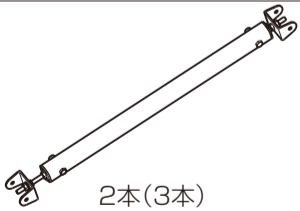

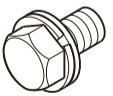
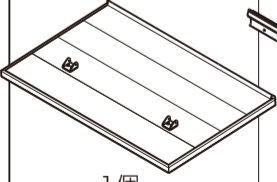
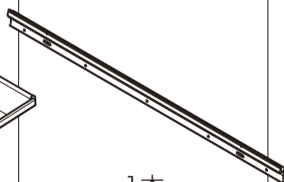










- ひさし本体の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項を遵守してください。
 - ・本製品は「先付けボルトセット」を外壁仕上げ前に取付ける先付け製品です。「先付けボルトセット」が取付いていない場合は取付けしないでください。
 - ・積雪地域(積雪が50cmをこえる地域)には取付けしないでください。
 - ・屋根雪が直接落ちる場所に取付けしないでください。
 - ・ひさし本体、ブラケットを取付ける位置に十分な強度を有する下記寸法の下地材があることを確認してください。

下地材の断面寸法：在来工法の場合 / 100mm×100mm以上
2×4工法の場合 / 76mm×140mm以上(ブラケット取付け部)
/ 89mm×89mm以上(ひさし本体取付け部、ひさし本体 / ブラケット用下地間柱)
 - ・外壁総厚さ(胴縁含む躯体から外壁表面までの厚さ)は25～50mmとしてください。ただし、金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合、外壁総厚さは33mm(サイディング厚さ15mm+胴縁厚さ18mm)としてください。
 - ・コーチねじの下地材へのねじ込み深さは、30mm以上を確保してください。
 - ・ひさし本体を取付け材にはめ込み後、吊りアームと固定するまでの間、ひさし本体を手で水平より上向きになるように保持してしてください。
 - ・ひさし本体が取付け材にはめ込みされていることを確認してから、本体ブラケットと吊りアームを仮固定してください。
 - ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじ・ボルト類を指定の数量使用してください。
 - ・本製品の上にとったり、ぶらさがったり、物をのせたり、はしごをかけたりしないでください。
 - ・ボルト・ナット類にゆるみがないことを確認してください。
- 本製品重量は最大約55kgになります。施工は対応する人数で行い、転落の危険がないように足場をかけてください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水のおそれがありますので、下記事項を遵守してください。
 - ・シーリングは、塗布箇所を十分に清掃しプライマーを塗布してから、指定箇所全てに対し必ず行ってください。
 - ・コーチねじは、下地部材の割れを防止するため、下穴(φ4.5)をあけてコーキング材を充てんし、取付けてください。コーチねじのねじ頭部にはコーキング材を塗布してください。
- 木造1階の玄関ひさし以外への転用および改造は行なわないでください。

取付け上のおお願い

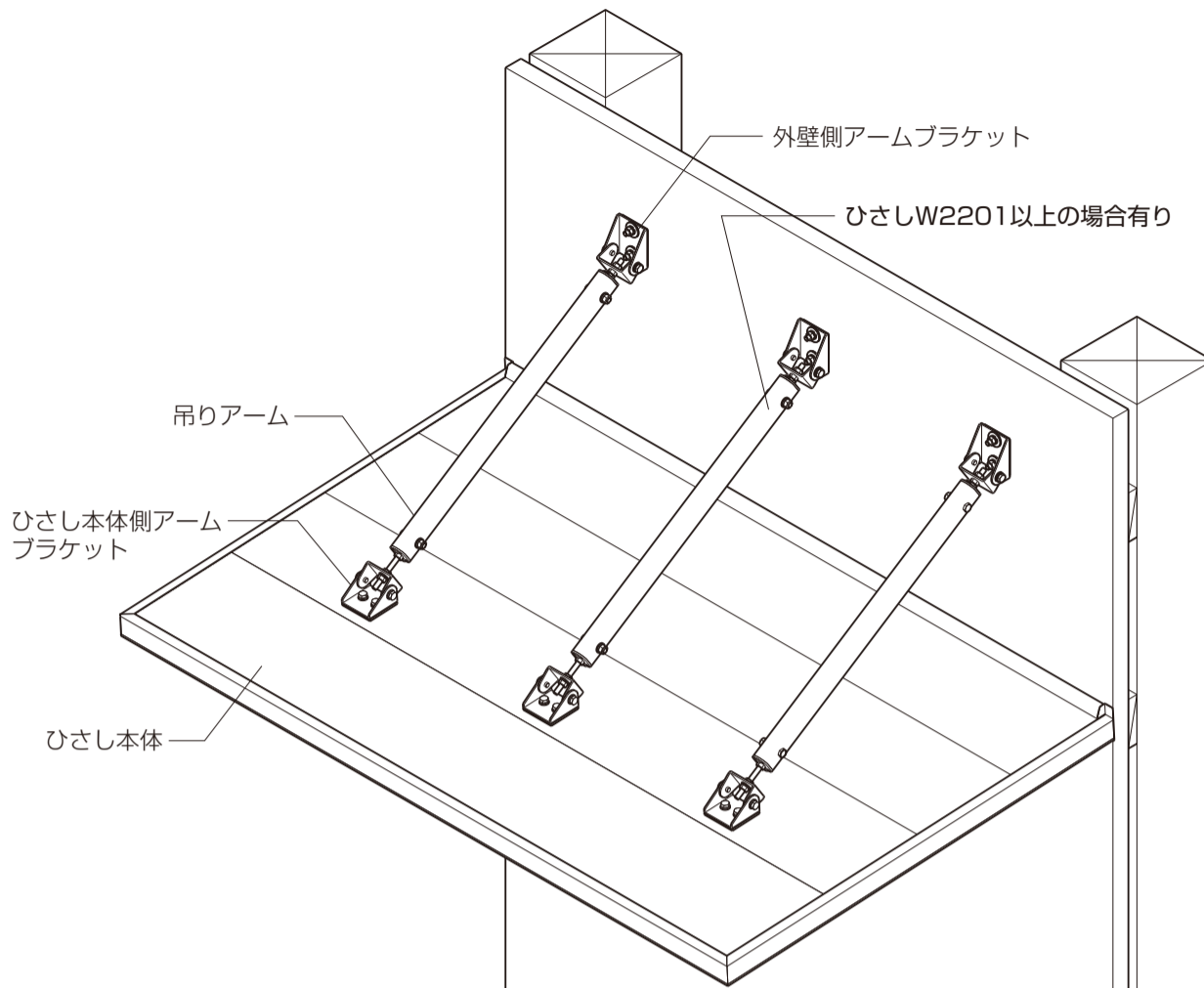
- 窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合、金属サイディング用スペーサーの取付けが必要です。

取付け部品・部材一覧

アーム部品				本体用部品			
吊りアーム	外壁側アームブラケット	座金組込み六角ボルトM8×16		ひさし本体	取付け材	コーチねじφ6×100	六角ナットM8用
 2本(3本)	 2個(3個)	 8本(12本)		 1個	 1本	 5～10個	 2個(3個) ※先付けボルトセット同梱品 をご使用ください。
パネ座金φ8用	大型平座金(φ26)	シール材(φ26)	六角ナットM8用	平座金φ8用	パネ座金φ8用	シーリングワッシャー付 トラスタッピンねじ3種	金属サイディング用スペーサー (外壁総厚さ33mm用)
 4個(6個)	t=2.0  4個(6個)	 4個(6個)	 4個(6個) ※先付けボルトセット同梱品 をご使用ください。	 2個(3個)	 2個(3個)	M5×16  2本(3個)	L=36.5  5～10個

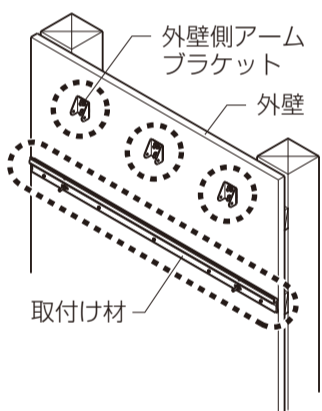
※()内は、ひさしW2201以上のときの員数を示す。

■使用工具 メガネレンチ(13番)、スパナ(13番)、ロングソケットレンチ(13番)、電動ドリル刃φ4.5、電動ドライバー



取付け順序

1 外壁側アームブラケット・取付け材の取付け



取付け詳細

1 外壁側アームブラケット・取付け材の取付け

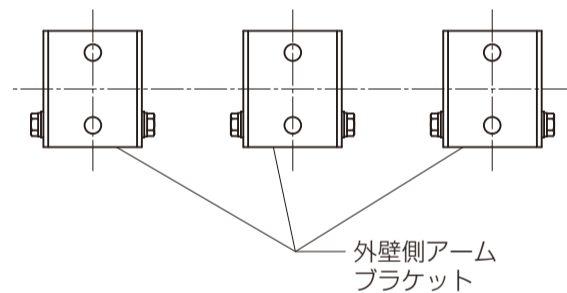
①あらかじめ取付けてある六角ナットM8用をいったん外して、外壁側ブラケット、シール材(φ26)、大型平座金(φ26)、バネ座金φ8用を先付けボルト・貫通ボルトに差込み、六角ナットM8用でしっかりと締付けます。

※メガネレンチ、ロングソケットレンチなどで締付けてください。
※先付けボルト、貫通ボルトが傾いてアームブラケットの取付けができない場合は、ねじ山をつぶさないように注意しながら矯正してブラケットを取付けてください。

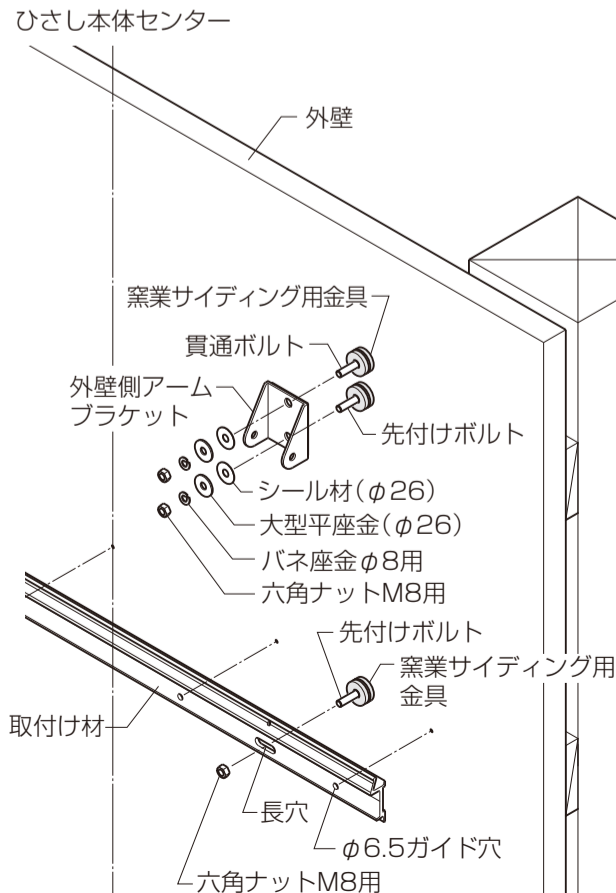
- ②取付け材の長穴を先付けボルトに差込み、ナットで仮締めします。
- ③ひさし本体センターを基準に取付け材の左右調整を行います。
- ④取付け位置が決まったら取付け材のφ6.5ガイド穴から外壁のコーチねじ取付け穴を位置出しします。

お願い
※取付け材が外壁のソリなどで湾曲した場合、ひさし本体が取付かない場合がありますので、取付け材のレベル出しは正確に行ってください。

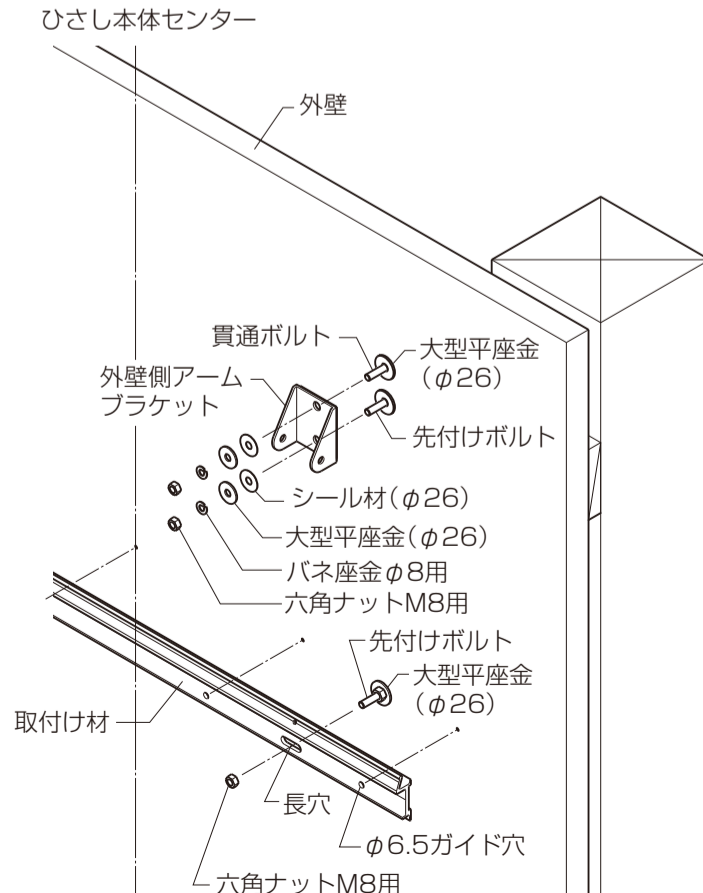
※ブラケットが傾くとひさし本体が取付かない場合がありますのでブラケットは垂直に取付けてください。



■窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合



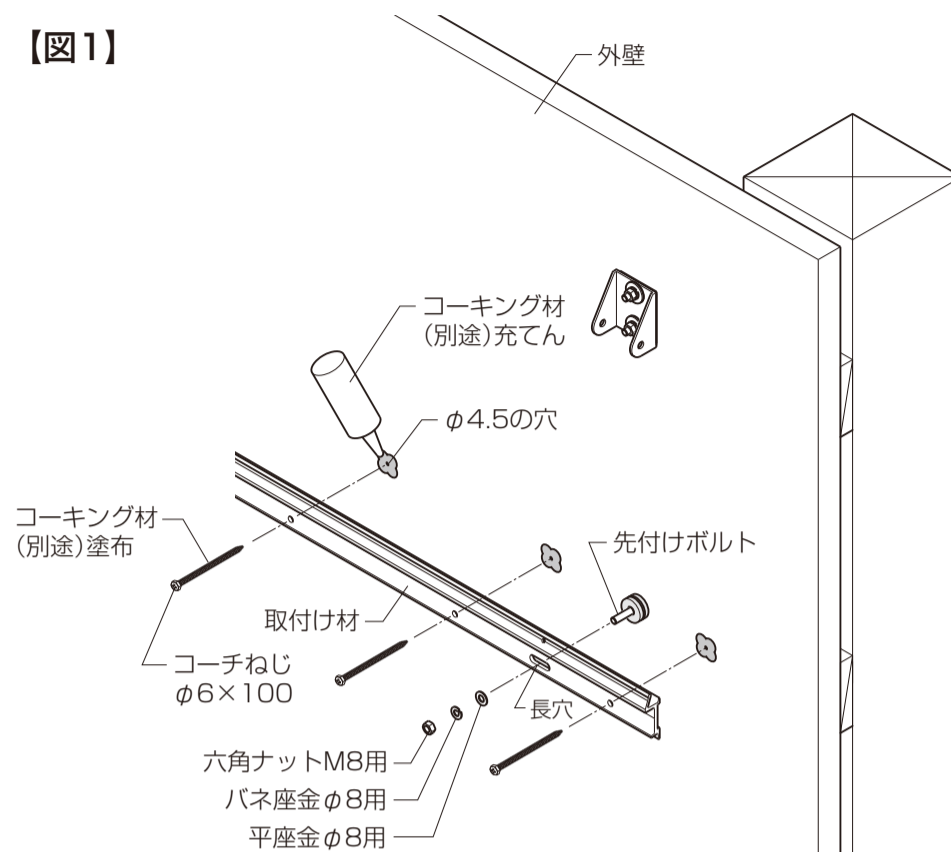
■金属サイディング又は窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のある場合



■窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)のない場合

⑤取付け材をいったん外し、④で付けた印部にドリルでφ4.5(深さ100mm)のコーチねじ下穴をあけてコーキング材を充てんします。【図1】

【図1】



▲注意

●コーチねじは、下地部材の割れを防止するため、下穴(φ4.5)をあけてコーキング材を充てんし、取付けてください。コーチねじのねじ頭部にはコーキング材を塗布してください。漏水の原因となります。

⑥取付け材の長穴を先付けボルトに差込み、平座金φ8用、バネ座金φ8用を入れ、六角ナットM8用でしっかりと締付けます。

⑦取付け材のφ6.5ガイド穴にコーチねじφ6×100を取付け固定します。

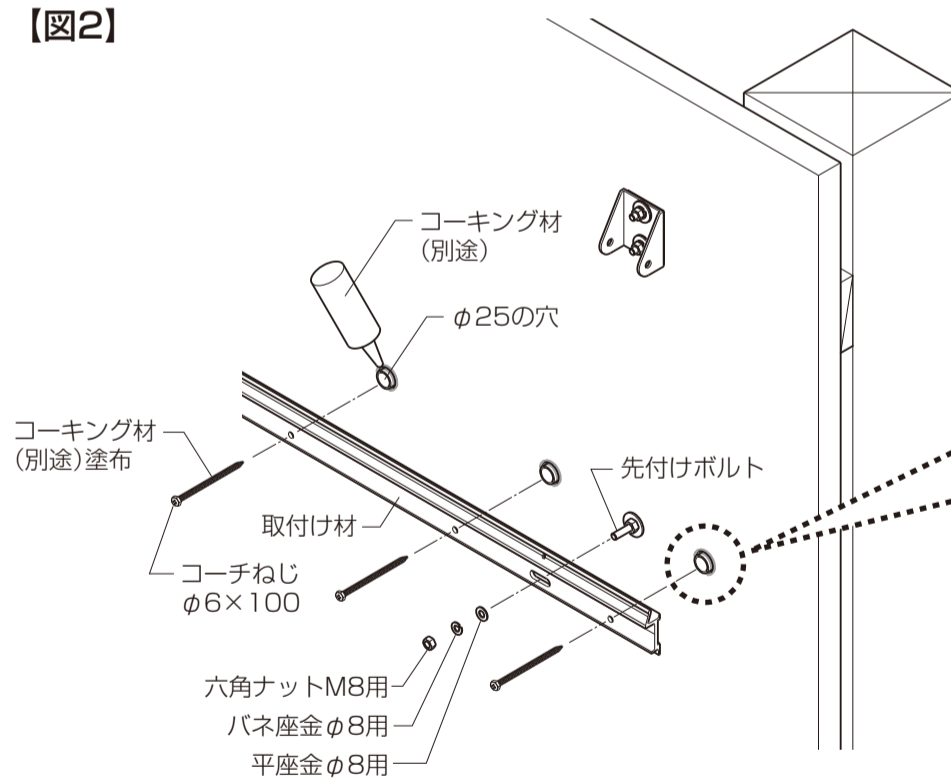
■金属サイディング又は外壁面に凹凸(4mm以上)のある場合

⑤取付け材をいったん外し、④で付けた印部にφ4.5のコーチねじ下穴をあけ、さらにホールソーで外壁にφ25の穴をあけて、金属サイディング用スペーサーをはめ込み、外壁と金属サイディング用スペーサーの間をシーリングします。【図2】

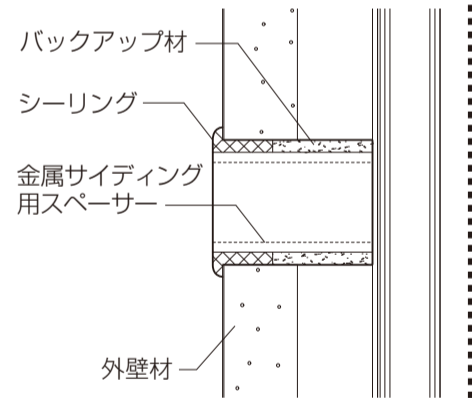
お願い

※窯業サイディングで外壁面に凹凸(4mm以上)がない場合、金属サイディング用スペーサーの取付けは不要です。

【図2】



■拡大図

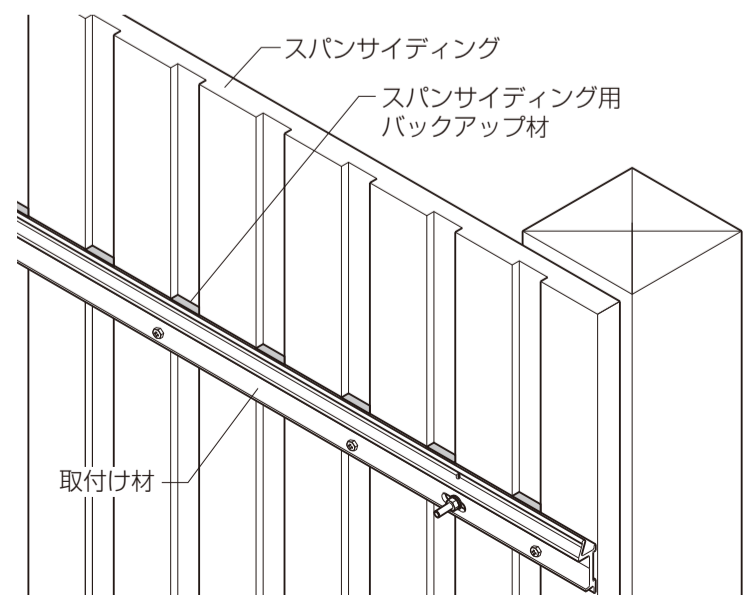


⑥取付け材の長穴を先付けボルトに差込み、ナットでしっかりと締付けます。

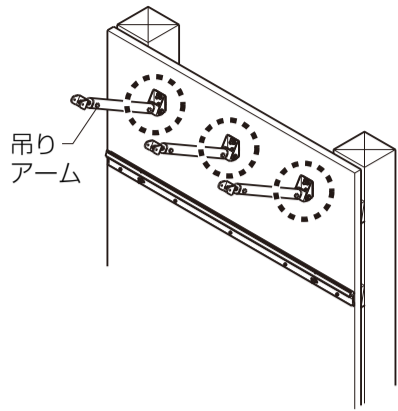
※取付け材を取付ける外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合は、凹部にバックアップ材を入れてから取付け材を取付けてください。当社製品のスパンサイディングの場合は専用のバックアップ材(Z-V716-PTAB)をご使用ください。【図3】

⑦取付け材のφ6.5ガイド穴にコーチねじを取付け、固定します。

【図3】

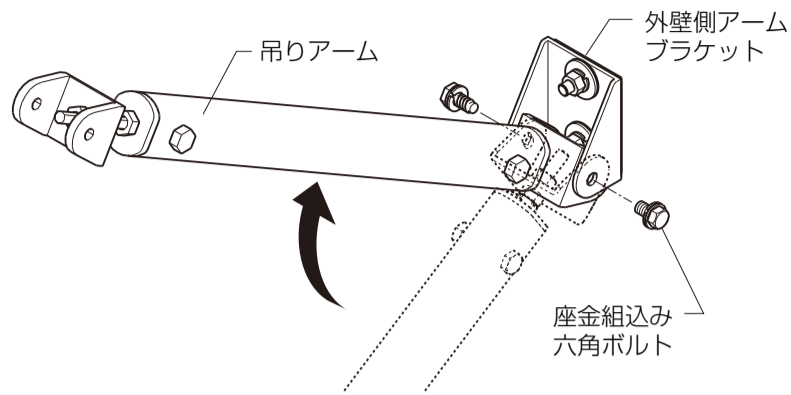


2 吊りアームの取付け



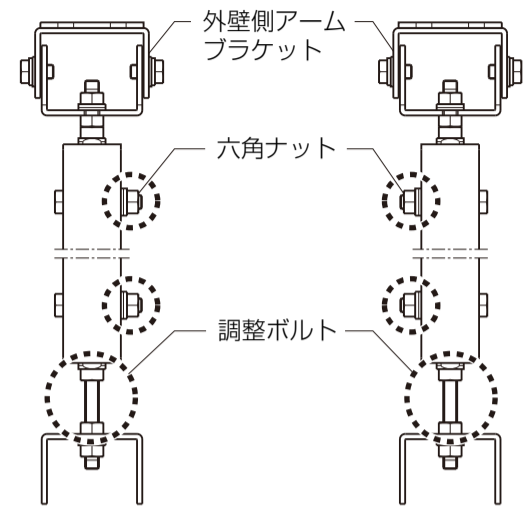
2 吊りアームの取付け

①吊りアームと外壁側アームブラケットを、座金組込み六角ボルトで仮固定します。

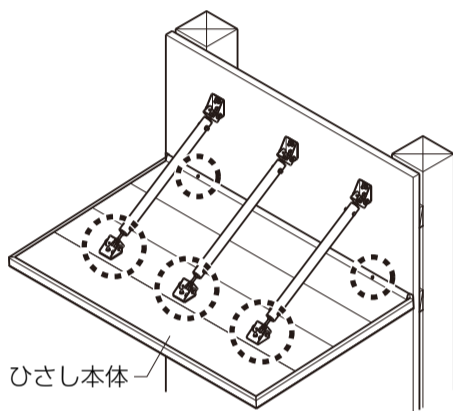


※ひさし本体の取付けの邪魔にならないように吊りアームは上方に向けてください。

※アームは六角ナットがついている方を内側にして、調整ボルトが付いている方をひさし本体側になるように外壁側に取付けてください。



3 ひさし本体の取付け

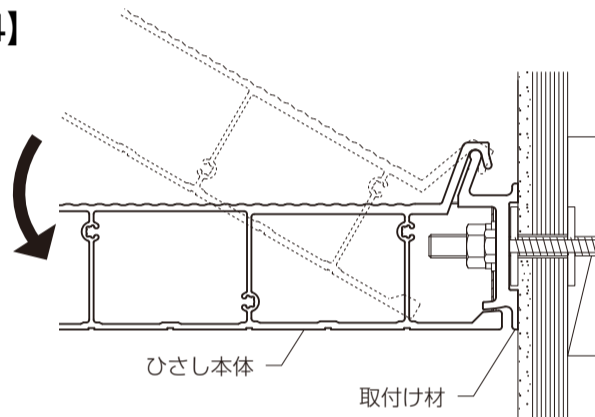


3 ひさし本体の取付け

①ひさし本体を取付け材に引っ掛け、下方に回転しながらはめ込んでください。【図4】

②ひさし本体を水平より上向きになるように手で保持してください。

【図4】



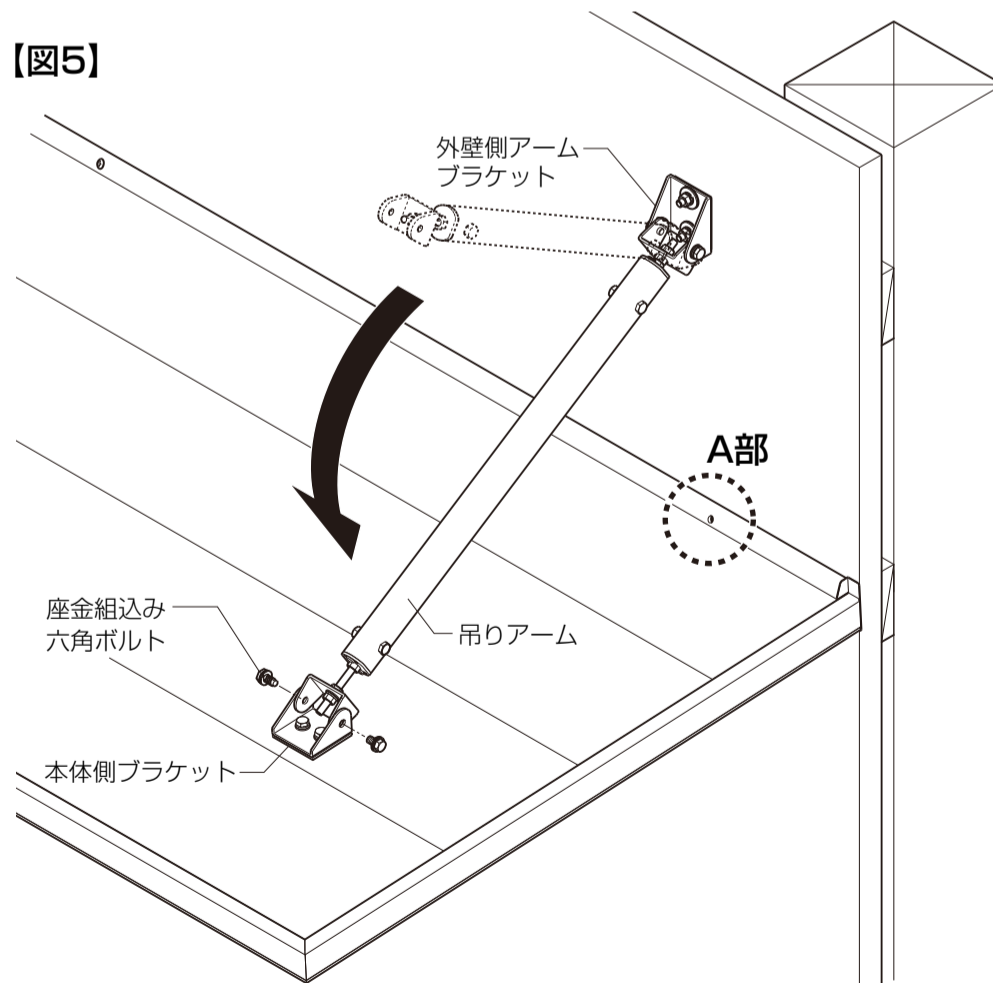
▲ 注意

●ひさし本体を取付け材にはめ込み後、吊りアームと固定するまでの間、ひさし本体を手で水平より上向きになるように保持してください。手をはなすと、ひさし本体や取付け材の破損のおそれがあります。

③左右調整を行い、A部(両端2カ所(ひさしW2201以上の場合、センターも含めて3カ所))のひさし本体と取付け材の穴を合わせてください。

④外壁側アームブラケットの座金組込み六角ボルトをゆるめて、ひさし本体側ブラケットに吊りアームを合わせ、座金組込み六角ボルトで仮固定してください。【図5】

【図5】

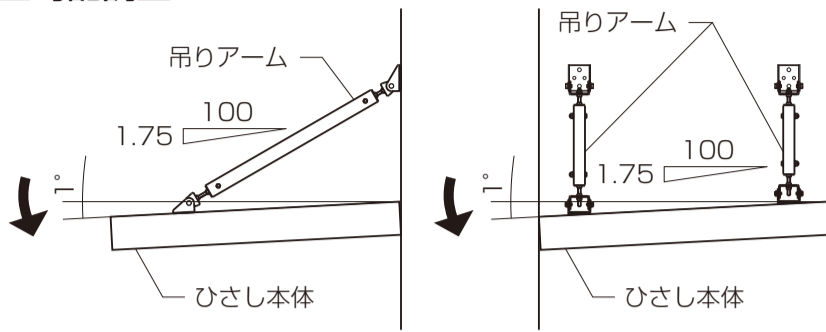


▲ 注意

●ひさし本体が取付け材にはめ込みされていることを確認してから、本体ブラケットと吊りアームを仮固定してください。はめ込みがされていないと、ひさし本体の外れ、落下のおそれがあります。

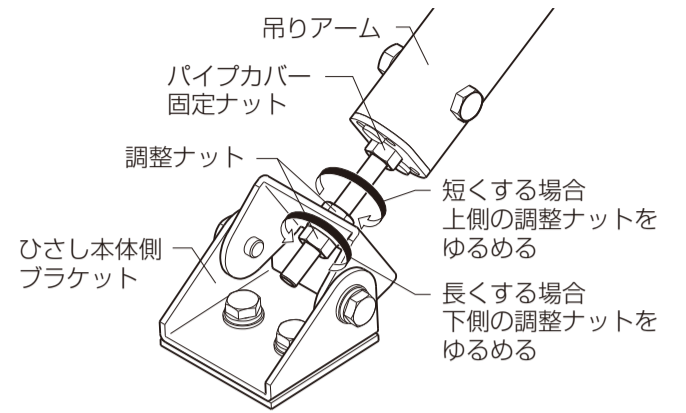
⑤下図のように雨水を処理する方向に、吊りアームの長さ調整により、勾配調整をしてください。

■勾配調整



※1°(0.175寸勾配)下げる。

※さらに1°下げる。
(外観左に落とす場合。)



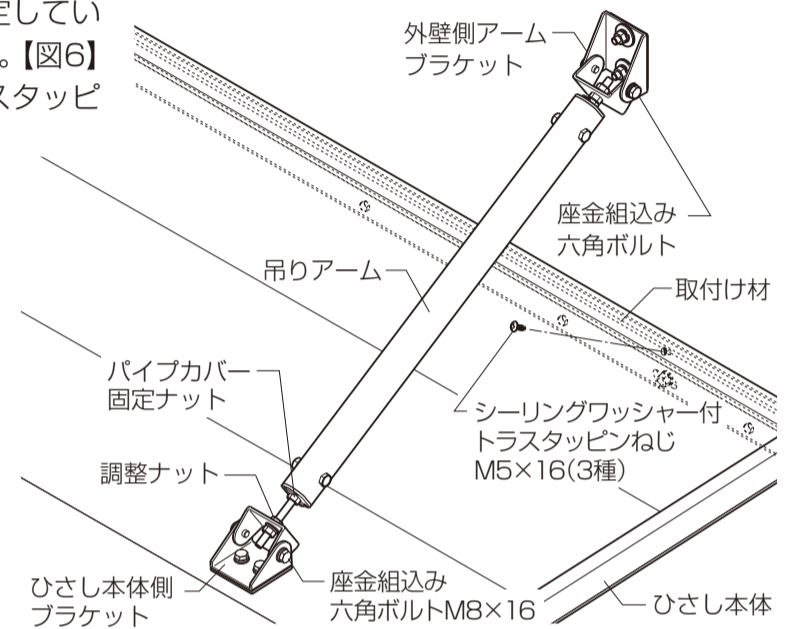
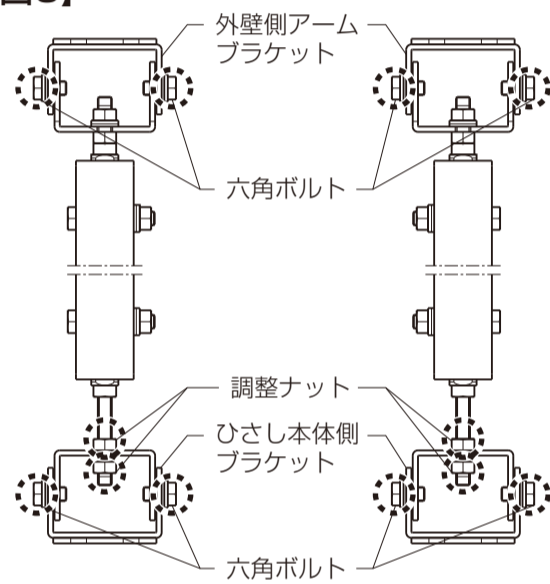
※調整ナットをゆるめて吊りアーム長さを調整してください。(パイプカバー固定ナットはゆるめないでください。)

※3本アームの場合は、左右のアームの長さ調整で勾配調整をし、中央のアームは最後に勾配に合わせて長さ調整をしてください。

⑥外壁側ブラケットおよびひさし本体側ブラケットを固定している六角ボルトと調整ナットをしっかりと固定してください。【図6】

⑦ひさし本体と取付け材をシーリングワッシャー付トラスタッピンねじ3種で固定します。

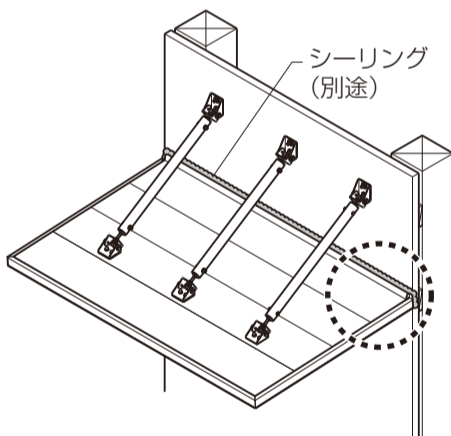
【図6】



▲注意

●ボルト・ナット類にゆるみがないことを確認してください。ひさし本体の外れ、落下のおそれがあります。

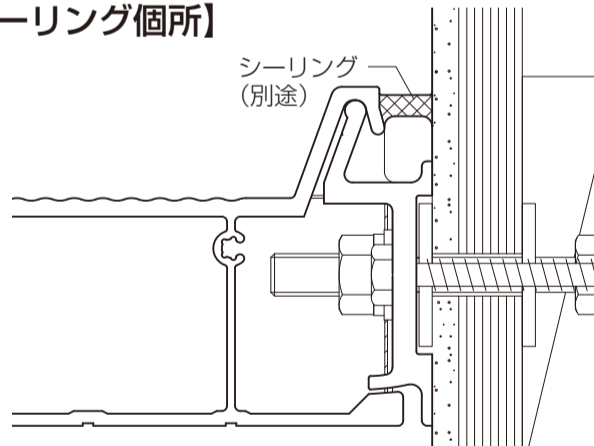
4 シーリング処理



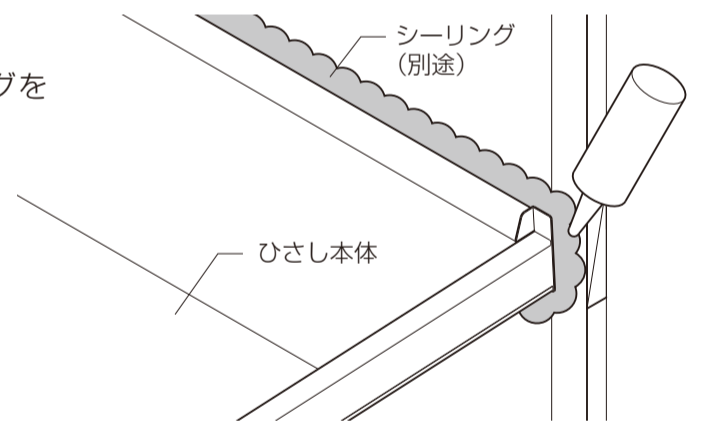
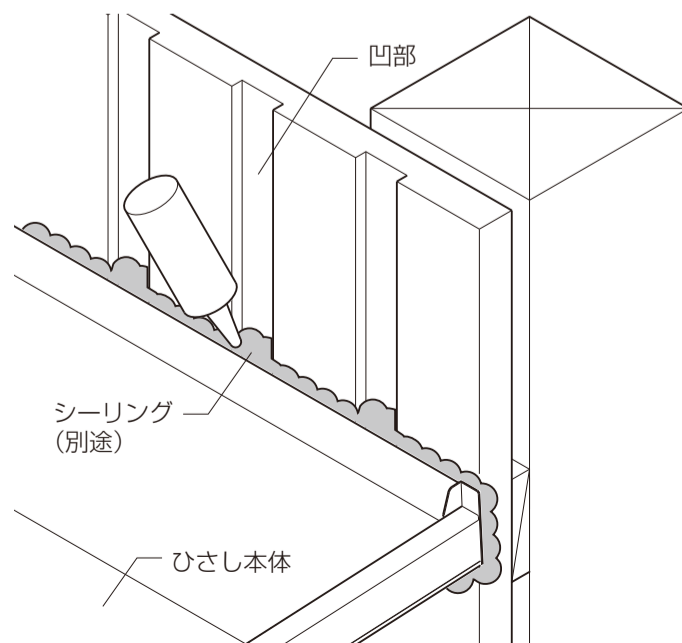
4 シーリング処理

●ひさし本体の取付け部にシーリングを行ってください。
※外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合は凹部にもシーリングを行ってください。

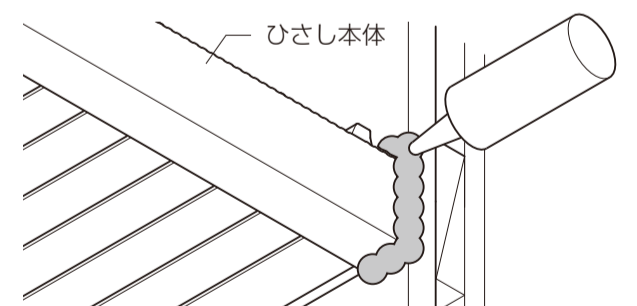
【シーリング箇所】



■外壁面に凹凸(4mm以上)がある場合



【裏面】

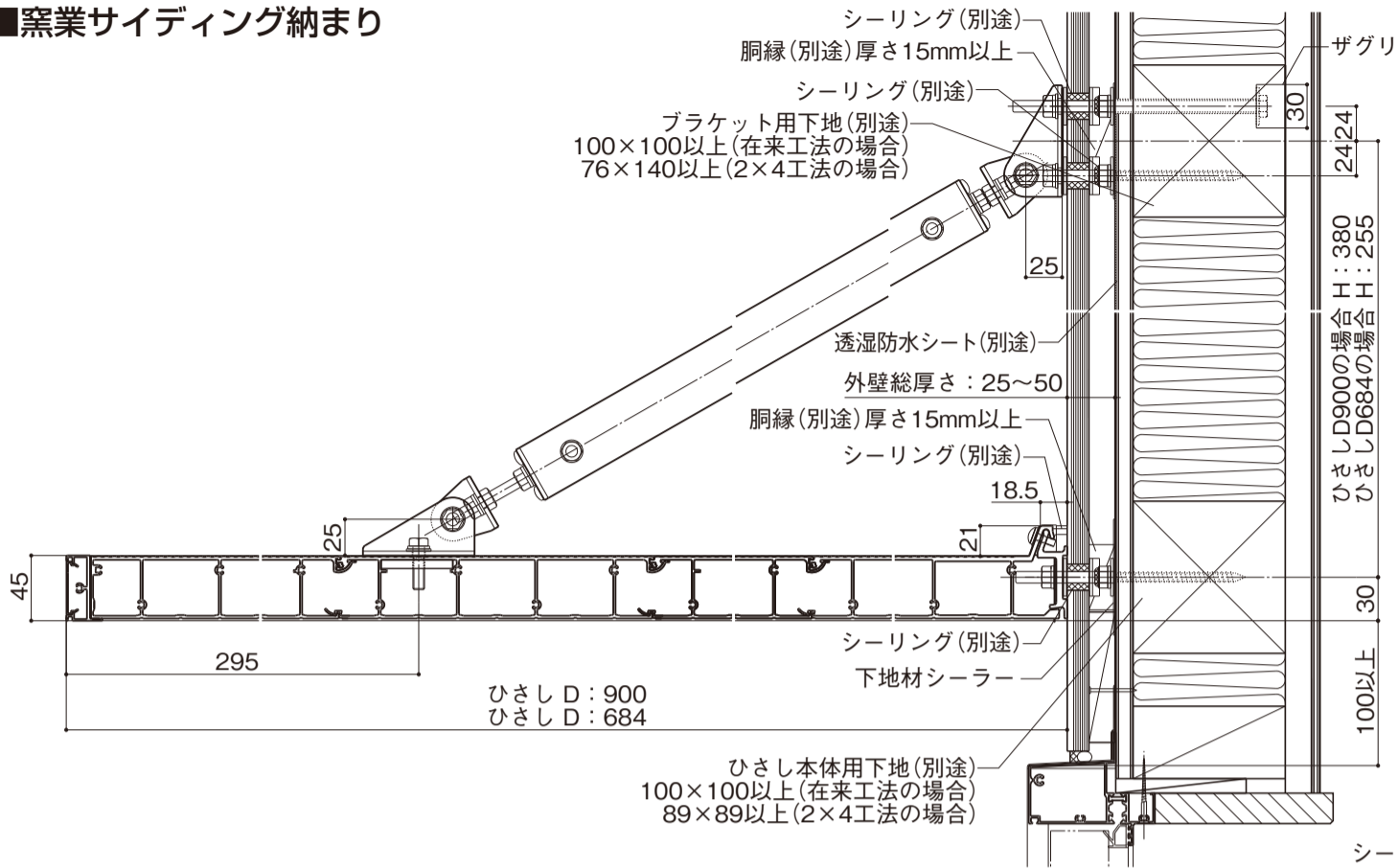


▲注意

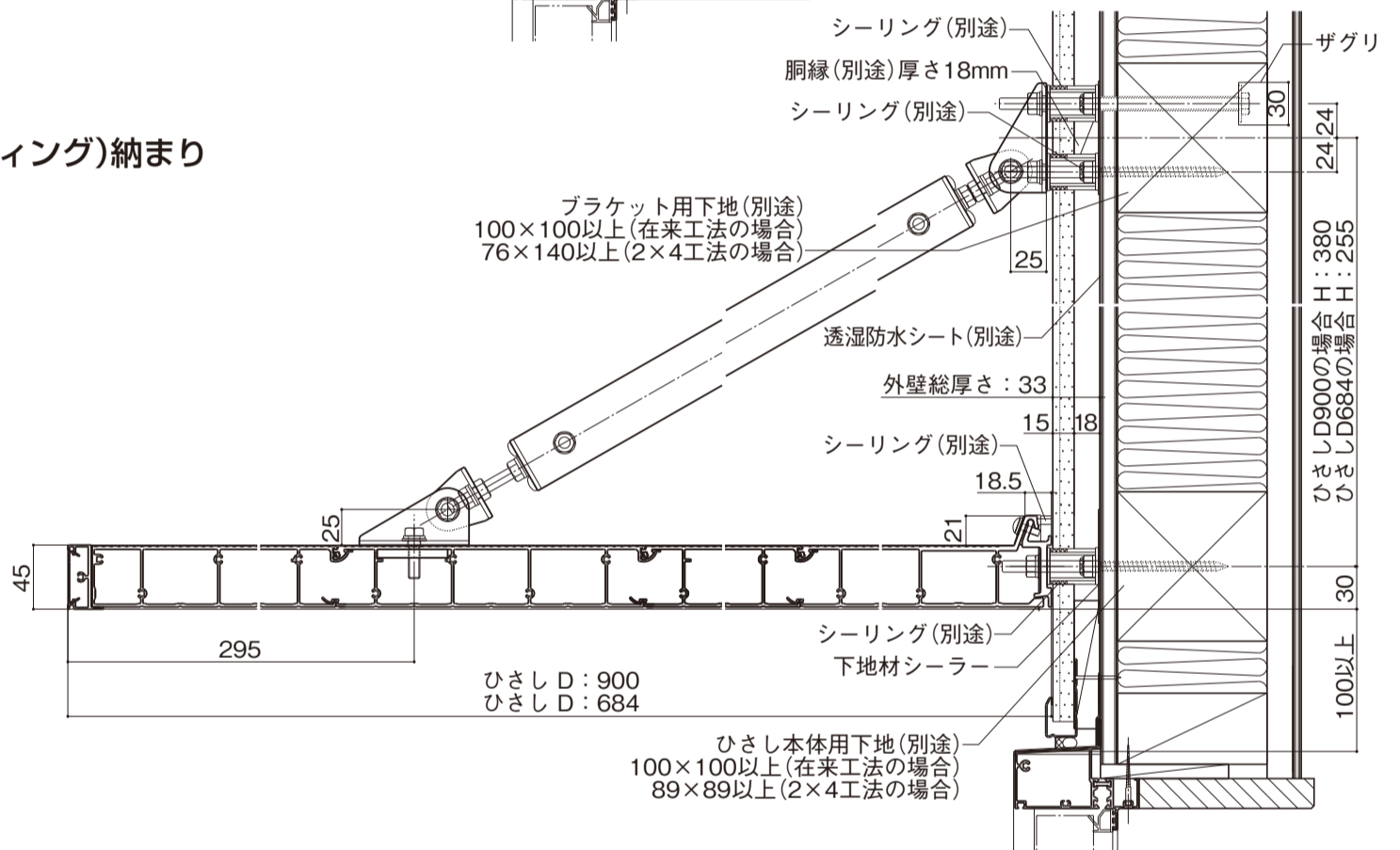
●シーリングは、塗布箇所を十分に清掃しプライマーを塗布してから、指定箇所全てに対し必ず行ってください。漏水の原因となります。

■納まり図

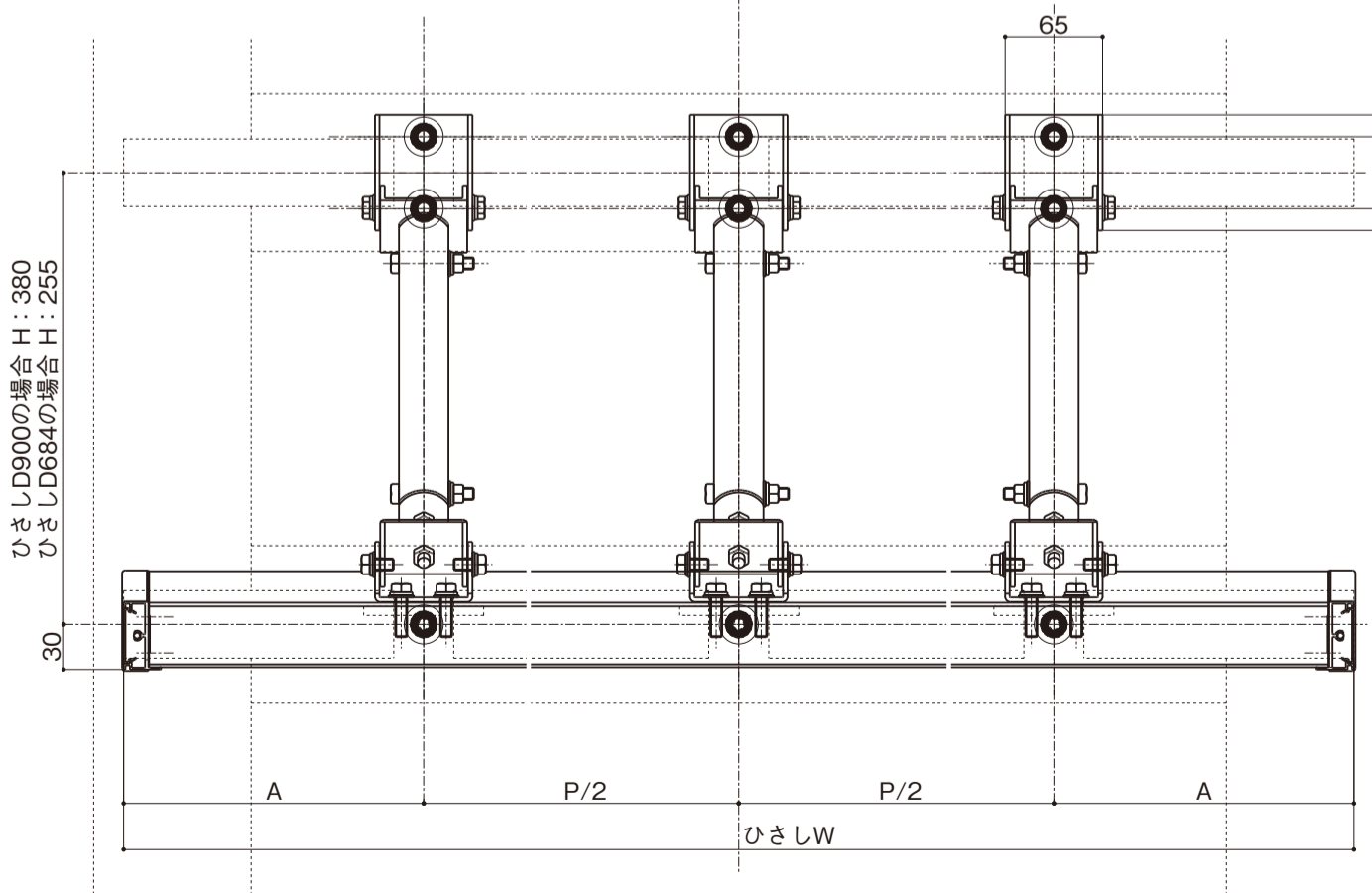
■窯業サイディング納まり



■スパンサイディング(金属サイディング)納まり



■正面図(窯業サイディング/スパンサイディング(金属サイディング)共通)



規格寸法	ひさしW	P/2寸法	A寸法	吊りアーム
	1080	340	200	2本
	1400	400	300	
	1830	515	400	
	2000	600	400	
	2500	950	300	3本
	3000	1100	400	
特注寸法	600 ≤ W ≤ 1360	(W-400) / 2	200	2本
	1360 < W ≤ 1600	(W-600) / 2	300	
	1600 < W ≤ 2200	(W-800) / 2	400	
	2200 < W ≤ 2500	(W-600) / 2	300	3本
	2500 < W ≤ 3000	(W-800) / 2	400	